

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年1月31日(2013.1.31)

【公開番号】特開2011-39290(P2011-39290A)

【公開日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2009-186495(P2009-186495)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/20

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月6日(2012.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

記録媒体上に形成された画像形成材料による可視的な像に第1のレーザ光を照射する第1の照射部と、前記第1のレーザ光を照射した後に前記可視的な像に第2のレーザ光を照射する第2の照射部とを含み、

W1 < W2, t1 > t2

ここで、W1：第1のレーザ光の単位領域あたりの光出力、

W2：第2のレーザ光の単位領域あたりの光出力、

t1：第1のレーザ光の単位領域あたりの照射時間、

t2：第2のレーザ光の単位領域あたりの照射時間、

の条件を満たしてレーザ光を照射し前記可視的な像を前記記録媒体上に定着させることを特徴とする定着装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1に係る定着装置は、記録媒体上に形成された画像形成材料による可視的な像に第1のレーザ光を照射する第1の照射部と、前記第1のレーザ光を照射した後に前記可視的な像に第2のレーザ光を照射する第2の照射部とを含み、

W1 < W2, t1 > t2

ここで、W1：第1のレーザ光の単位領域あたりの光出力、

W2：第2のレーザ光の単位領域あたりの光出力、

t1：第1のレーザ光の単位領域あたりの照射時間、

t2：第2のレーザ光の単位領域あたりの照射時間、

の条件を満たしてレーザ光を照射し前記可視的な像を前記記録媒体上に定着せるものである。

請求項2に係る発明は、前記第1のレーザ光照射部と前記第2のレーザ光照射部が、一つのレーザ光源から出射されたレーザ光を利用していることを特徴とする請求項1記載の定着装置である。

請求項 3 に係る発明は、前記第 1 のレーザ光照射部と前記第 2 のレーザ光照射部が、一つのレーザ光源から出射された、前記記録媒体の前記可視的な像が形成される面に対して傾けられたレーザ光からなることを特徴とする請求項 1 記載の定着装置である。

請求項 4 に係る発明は、前記レーザ光源からのレーザ光を一旦集束させて拡散させる光学系を備えたことを特徴とする請求項 3 記載の定着装置である。

請求項 5 に係る画像形成装置は、記録媒体にトナー像を形成する画像形成部と、前記画像形成部で形成されたトナー像を前記記録媒体上に定着させる請求項 1 から 4 のいずれかに記載の定着装置とを備えたものである。